



困難な状況を乗り越えるために

校長 富士 健一



「まけてたまるか！」

青山学院大学陸上競技部の選手たちが、「箱根駅伝」優勝奪還を目指して心の中で叫び続けた言葉。昨年度、駒澤大学が学生三大駅伝（「出雲駅伝」「全日本大学駅伝」「第99回箱根駅伝」）三冠を達成し、監督交代した今年度も「出雲、全日本」を制し、三冠連覇へと邁進。「駒大一強」と言われる中、青山学院大学の原晋監督が「打倒駒澤大学」を掲げ公言した“まけてたまるか！ 大作戦”。このキャッチフレーズには、「王者駒澤大学にまけないこと」「自分を信じる気持ちにまけないこと」の2つの意味と、「困難に向き合う中で自ら考える力と課題解決する思考力を養ってほしい」との願いが込められていたそうです。監督の期待に満ちた言葉に選手たちは奮い立ち、年明け2日、3日に行われた「第100回箱根駅伝」で、青山学院大学は駒澤大学に大差をつけ、大会記録を2分17秒も縮める10時間41分25秒の新記録で2年ぶり7度目の総合優勝を果たしました。

「第100回箱根駅伝」は、シード10校と全国から予選会を勝ち抜いた13校の精鋭23チームが母校の襷をつなぐ記念大会。どのチームも東京箱根間往復217.1km、標高差874mという過酷なコース往路5区間、復路5区間の計10区間に最適な選手を配置し、表彰台の頂点と次大会のシード権獲得に挑みます。前評判通り1区2区と先頭を走って後続との差を広げる駒澤大学が誰の目にも優勝最有力と見えました。一方、青山学院大学は1区9位でトップと35秒差。ところが、2区の走者が7人を抜いて2位に浮上。3区の走者に襷が渡ると、信じられないスピードで駒澤大学の有力走者を猛追し、まさかの逆転。まさに、「まけてたまるか」を体現した青山学院大学の「魂の走り」に体が震えるほどの驚きと感動を覚えました。4区5区の走者も、焦りから走りに精彩を欠いた2位駒澤大学との差を2分38秒に広げ、新記録で往路優勝を掴みました。復路における青山学院大学は、6区から10区まで一度も首位を譲ることなく、2位駒澤大学に6分35秒もの大差をつけて歓喜のゴール。2区以降、5人が区間賞、3人が区間2位、1人が区間3位という圧巻の個人成績を残し、総合新記録で第100回大会の頂点に立ったのです。



100年前どころか10年前と比べても、今は科学的トレーニングや戦略のためのデータ分析が飛躍的に進化して長距離界の技術革新と駅伝の高速化が進み、学生陸上界にも世界で通用する選手が登場してきています。けれども、母校の誇りとチームの伝統という襷の重みを大切にしている学生駅伝、ましてや距離と地形と自然条件に苦しめられる「箱根駅伝」出場選手の現実、技術革新に裏打ちされながらも、最もアナログな精神論、“**気持ちの強さと絆の大きさ**”が大きな力となって勝敗を左右していきます。「まけてたまるか！」精神で王者の三冠連覇を阻止した青山学院大学、「**変化と挑戦。もっと早く、もっと強く、もっと楽しく。**」を胸に「**エースの粘り**」を見せた敦賀気比高出身2区と区間新記録5区の力で過去最高の総合3位を手にした城西大学、「**その1秒を削り出せ・鉄紺の再建**」を合言葉に前回10位から巻き返しの総合4位と19年連続シードを獲得した東洋大学。優勝候補ながら1区17位の出遅れを美方高出身2区が「**エースの意地**」区間3位で激走して後続ランナーを勢いづけ、総合5位を獲得した國學院大学。どれも、選手・監督・スタッフの“**気持ちの強さと絆の大きさ**”によって掴み取った結果のように見えました。

さて、「箱根駅伝」の前日、1月1日16時10分ごろに発生した最大震度7の能登半島地震。北陸を中心に揺れや津波による大災害に見舞われてスタートした2024年。のんびりと過ごしていた元旦の夕方、突然の大きな揺れとその直後に発令された津波警報により、海のすぐそばに住んでいる私たち家族は、海から離れた高い場所へ一時避難しました。しばらくの間、ラジオや有線放送を頼りに様子を伺いながら、緊急避難時への備えと、命を守るためのとっさの状況判断、最適な行動の大切さを実感しました。皆様方も一時避難したり不安な夜を過ごされたりしたものと推察します。実際、私たち小浜市民がこの地震によって被災することはありませんでしたが、被災地で生命財産を奪われたり長期避難生活を余儀なくされたりした方々には、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

何が起るかわからない不安な世の中ではありますが、本校においても、一人一人が「まけてたまるか」という“**気持ちの強さと絆の大きさ**”を持って、どんな困難な状況があっても、それを乗り越えるために、自分の力で考えること、最善の準備を整えながら努力すること、「まけてたまるか」の精神で自分を信じ、明日への希望を持って全力を尽くすことを、常に大切に過ごしていきたいものです。保護者の皆様、どうか本年も、子供たちの「未来は幸せ」のために、ご支援よろしくお願ひいたします。

<教職員の声> 1月は、宮本 洵矢 (みやもと じゅんや) 先生のコーナーです。

【 趣 味 】

あけましておめでとうございます。ここでは、普段学校ではあまり話さないような、先生の趣味の話をしよ
うと思います。みなさんの趣味は何ですか。聞かれると「これ!」と答えるのは難しいですね。

先生の趣味は「音楽と旅行」です。

音楽

- ・日本の音楽(J-POP)が好き
- ・歌番組を見るのが好き
- ・バンドが好き



旅行

- ・車の運転が好き
- ・ひとり旅でもみんな一緒でも楽しめる!
- ・観光地やイベントがなくても楽しめる!

こんな感じですが!でも「音楽」と「旅行」を掛け合わせた「コンサート・ライブ」が一番の楽しみです!先生
の好きなアーティストは、あまりみなさんに話したことがない気がします。「UVERworld(ウーバーワ
ールド)」というバンドを知っていますか。このバンドのファンになって18年経ちます。たくさん曲はあります。オ
ススメの曲は「7日目の決意」、「EN」という曲です。是非聞いてみて下さい!最初はいろいろとインパ
クトが強いかもしれませんが(笑)メッセージ性が伝わるとても良いバンドで、ボーカルは先生が尊敬する人
物の一人でもあります。是非聞いたなら先生に感想を聞かせてください。

新年早々、自分の話で盛り上がりました。今年もよろしくお祈りします。

<3学期の主な行事>

- ・1/ 9 (火) 第3学期始業式
- ・1/26 (金) 学習発表会 (全校)
- ・2/ 3 (土) 福井ふるさと教育フェスタ (5・6年)
- ・2/ 7 (水) 小浜二中新入生体験入学 (6年)
- ・2/ 9 (金) 振替でお休み
- ・2/14 (水) 薬物乱用防止教室 (5・6年)
- ・2/15 (木) 給食感謝祭 (全校)
- ・2/16 (金) 校内なわとび大会<学校公開日>
- ・2/17 (土) 里山里海湖フォーラム2024 (6年)
- ・2/22 (木) 新1年生体験入学
通学安全連絡会 (見守り隊)
- ・2/28 (水) 親子で学ぶ命の学習 (2・5年/保護者)
地域学校協議会 (学校評議員)
- ・3/ 1 (金) 読み聞かせボランティア意見交換会
- ・3/ 7 (木) 卒業を祝う会 (全校)
- ・3/15 (金) 卒業証書授与式 (全校/6年保護者)
- ・3/21 (木) 地区別子ども会、大掃除
- ・3/22 (金) 修了式 (1~5年)
- ・3/25~27 (未定) 離任式
- ・3/28 (木) PTA 会計監査
※次年度 PTA 役員選出
※PTA 広報誌発行



-1月~2月初めの行事予定-

- ☆学校給食週間(1/22~26)
- ☆R6年度PTA副会長選出(1月中旬)
- ☆R6年度PTA地区委員選出(1/22~2/2)

- 1日(月祝)元旦
- 8日(月祝)成人の日
- 9日(火)PTA 登校指導、第3学期始業式
給食なしで11:30下校
- 10日(水)PTA 登校指導、給食開始
- 11日(木)学校だより発行日
- 12日(金)読み聞かせ(1.2.3.4年)
- 15日(月)学校集金日
- 17日(水)委員会
- 24日(水)クラブ
- 25日(木)SC来校
看護学生実施の性教育(4年)
- 26日(金)学習発表会
- 2/1(木)PTA 登校指導、学校だより発行日
- 2/2(金)PTA 登校指導
読み聞かせ(1・2・5・6年)
- 2/3(土)授業日(2/9振替)
※福井ふるさと教育フェスタ(5・6年参加)
- 2/7(水)小浜二中新入生体験入学(6年)
クラブ



↓高学年は必ず書いてお家の方に見せ、提出しましょう。

.....きりとりせん.....

<わたしのこえ>1月号 ※ころろがあたたかくなったこと、がんばったこと、やってみようことなど、ぜひしょうかいしてね。

ねん

なまえ:

<保護者の声>

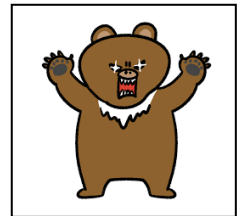
～冬休み特別号返信より～



◇保護者の皆様、あけましておめでとうございます。
◇今年度がスタートしてから、本当にあっという間に年を越しましたが、それだけ、本校での毎日が充実していた証拠だと思っています。
◇今回も、新学期早々、たくさんの返信ありがとうございました。時節柄、子供たちは卒業や進級に向けての決意、保護者の皆様方は我が子の成長への喜びやこれからに期待する声が増えてきました。震災直後の3学期ということもありますが、子供たちには、自分にできることを考えて、いっしょうけんめい努力し、成長する姿を期待したいものです。

【 低学年（1～3年） 】

- *この1年でも、たくさん成長を見せてくれました。もうすぐ4年生、高学年の仲間入りで、信じられない気持ちもありますが、頑張ってください。→※1
- *熊や鹿がいるので登下校が心配です。対応が難しいとは思いますが、子供たちが安心して登下校できるとよいなと思います。→※2
- 温暖化の影響からか、山裾にある学校や集落はもちろん町中においても、日々の生活を脅かす獣害が頻発してきています。野生動物による脅威もまた、自然災害と同じように、いつどこで起こるか分からないという危機意識を持った生活の必要性が高まっています。本校においても、特に熊に関する情報が耳に入った際には、すぐー等で情報発信するとともに、登下校時、該当する通学路に教員を向かわせたり通学見守り隊の方々や該当地区の保護者の方々に状況確認や送迎等のご協力をお願いしたりして、安全確保に努めて対応しています。子供たちには、暗いうちに家を出なくてもいいように登校時刻の見直しを行わせたり、一人きりで登下校しないことや何かあればすぐに大声で近くの家の人に助けを求めること等を指導したりしています。ぜひ、各ご家庭でも、薄暗い時間帯やもしもの場合にどういった行動をとるとよいのか、お子様と話し合ってみてください。



【 高学年（4～6年） 】

- *いつもありがとうございます。
- *冬休み前の懇談時、クラスで係の仕事や給食当番等、積極的に頑張っていると聞き、安心しました。このままの調子で何事も積極的に頑張ってください。→※3
- *風邪などを引かず年越しできるといいです。 *規則正しく生活を送れたと思います。
- *冬休み中は、少しダラダラした生活をしていましたが、少しずつ生活を取り戻して、5年生最後の学期を楽しく、また、6年生に向けてがんばってほしいと思います。
- *初めての音楽発表会、ドキドキしながら観客席から応援していました。みんなの姿に感動しました。来年の発表会も楽しみにしています。→※4
- *今年はまだ一人弟が増え、4人きょうだいなり、ますますしっかりしてきて、お世話もたくさん手伝ってくれました！いつも助けてもらい、本当に感謝しています。勉強も難しくなってきた大変そうだけれど、がんばってほしいと思います。→※5
- *宿題が計画的に進みませんでした。自発的に進めていけるように計画いたします。→※6
- *長いと思っていた小学校生活も、残すところあと1学期となり、何だか切ない気持ちです。最後まで、良い思い出ができるよう、親としてサポートしていきたいです。→※7
- *令和6年スタート！！昇り竜のように、口名田小学校のみんなにとって良い年であることを願っております。



.....きりとりせん.....
<保護者の声> 1月号 ※感想やご意見・ご要望等、ぜひお書きの上、ご提出ください。（一部紹介させていただきます。）

年 保護者氏名：

＊ 苦手なことばかりの2学期がようやく終わりました。不安な顔を見ると私の心も折れそうな位、つらく長い時間が過ぎ、我が家にはようやく春がおとずれた気持ちです。どの行事も休まず出席した事に“がんばったね”は、あまりにも安く感じ、それ以上の言葉を未だに探しています。→※8

■ 苦手なことをがんばる本人のつらさ、それをそばで見守り応援することしかできない親という立場は本当につらく苦しいものです。20才を過ぎた娘を持つ私自身、いまだに感じることであり、お書きいただいた声にとても共感しました。ここぞという場面での我が子のがんばりを認めたい時、「がんばったね」という言葉よりも、「よくがまんしてやりきったね」「よくあきらめずにのりこえたね」という言葉の方が似合うような気がしています。けれども、子供というものは親が思う以上にしっかりしたもの。直接の言葉かけ以上に我が子の苦しみを正面から受け止めてくれている親の姿に、今は言葉にできないものの、子供は安心感と感謝の気持ちを抱いているように思います。人並み以上に特別なことに挑戦しようとする子供がいる反面、人が当たり前に行えることがなかなかできない子供もいます。どんなことであれ、我が子がこれまで以上のがんばりを示している時には、思いっきりエールを送り、結果がどうであれ思いっきりほめてやりたいものです。

＊ 1月1日に発生した能登半島地震で、子供たちは、初めて地震や津波の恐ろしさを体感しました。あらためて、家族で命を守る行動について、日頃の備えについて、話し合いました。

■ 訓練や備えを怠らないよう、もしもの場合に備えること、まさかの事態が起こったときに、とっさに命を守るためにできる最善の判断行動を起こすこと、本当に大切だと新年早々から思わされました。喉元過ぎれば何とやら…にならないよう、この思いを継続させていかなければならないですね。



.....

＜わたしのこえ＞ ～冬休み特別号返信より～

(※は「保護者の声」と「わたしのこえ」が呼応しているものです。)

【低学年】(1・2・3年生)

- ・ はやねはやおきを、気をつけようと思います。ちょっとはできたけど、もっとがんばりたいです。
- ・ 昨年の思い出は、大黒山や南川に行ったことです。←※1
- ・ いいへんじを心がけたいです。げ校時こくやとう校時こくは、わたしの地くは変わらないと暗くてけものとかがないか、少し心ばいです。←※2

【高学年】(4・5・6年生)

- ・ 今年は、もっとはやく走れるように練習します。
- ・ 今年がんばりたいことは、係の仕事をはやくすることです。←※3
- ・ 冬休みの思い出は1月3日にお母さんの実家でみんなとご飯を食べたことです。
- ・ 今年は欠席日数を0にしたいなと思っています。
- ・ 今年はお手伝いをがんばりたいです。なぜなら、お手伝いをしたらみんなが喜んでくれるからです。
- ・ 今年度の思い出は、はじめて音楽会に出たことです。来年度は、次の音楽会の練習と本番をがんばりたいです。←※4
- ・ 今年度の思い出は、音楽会です。来年度がんばりたいことは楽器の手もとの方をあまり見ずにえんそうすることです。
- ・ がんばったことは自然教室です。理由は、自分だけ(の力)で行動できたからです。
- ・ 一番の思い出は、弟が生まれたことです。今年がんばりたいことは、なわとびのむずかしいわざをたくさんとぶことと、勉強をがんばりたいです。←※5
- ・ 今年は算数をもっとできるようになりたいです。
- ・ 今年は、昨年できなかったことをがんばりたいです。
- ・ 長い休みの宿題を計画的にしていきたいです。←※6
- ・ 来年度は6年生なので、しっかりと低学年をリードしていきたいです。←※8
- ・ 2学期が終わり、残り1学期になりました。この「1学期」を大切に小学校生活を過ごしたいです。
- ・ 来年度は中学生になるので、勉強についていけるようがんばります。友達もたくさんつくりたいです。←※7

